

日沿道 象潟仁賀保道路（象潟IC(仮称)～金浦IC）が
紅葉シーズン前に開通します。
～地域の産業・観光・救急医療への効果が拡大します～

国土交通省が事業を進めてきました、日本海沿岸東北自動車道 象潟仁賀保道路のうち、象潟IC(仮称)～金浦IC間の延長6.8kmが紅葉シーズン前に開通できる見込みとなりましたので、お知らせします。

今回の開通を含め、日本海沿岸東北自動車道の延伸により、地域の産業・観光・救急医療に更に効果が拡大するものと期待されます。

○日沿道延伸により期待される整備効果 （※別添参照）

- 効果1：電子部品の輸送効率化で主要産業の再生と成長を支援
- 効果2：道の駅を拠点とした環鳥海地域の観光の活性化を支援
- 効果3：救急搬送の迅速性・安定性を確保

1. 開通区間

○日本海沿岸東北自動車道 象潟仁賀保道路

象潟IC(仮称) ～ 金浦IC (延長 約6.8km)

※今回開通する区間は、これまでと同様に無料となります。

※今回の開通区間については自動車専用道路となり、歩行者、自転車、軽車両、二輪車(125cc以下)は通行できません。

2. 今回の開通により、象潟仁賀保道路（象潟IC(仮称)～仁賀保IC 延長13.7km）が全線開通となります。

3. 開通時期の詳細については、工事進捗が明らかになった時点でお知らせします。

発表記者會：秋田県政記者會

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所

副所長（道路担当） 佐野 智樹（内線205） 電話 018-823-4167(代表)

日本海沿岸東北自動車道

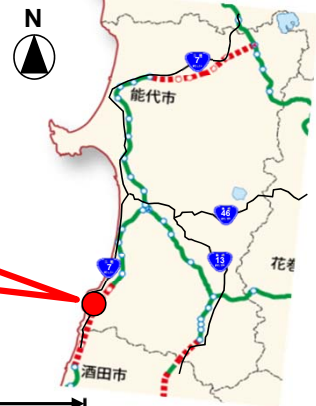
きさかたにかほ

一般国道7号 象潟仁賀保道路

きさかた

このうら

象潟IC(仮称)～金浦IC(延長 約6.8km)



一般国道7号
象潟IC(仮称)～金浦IC

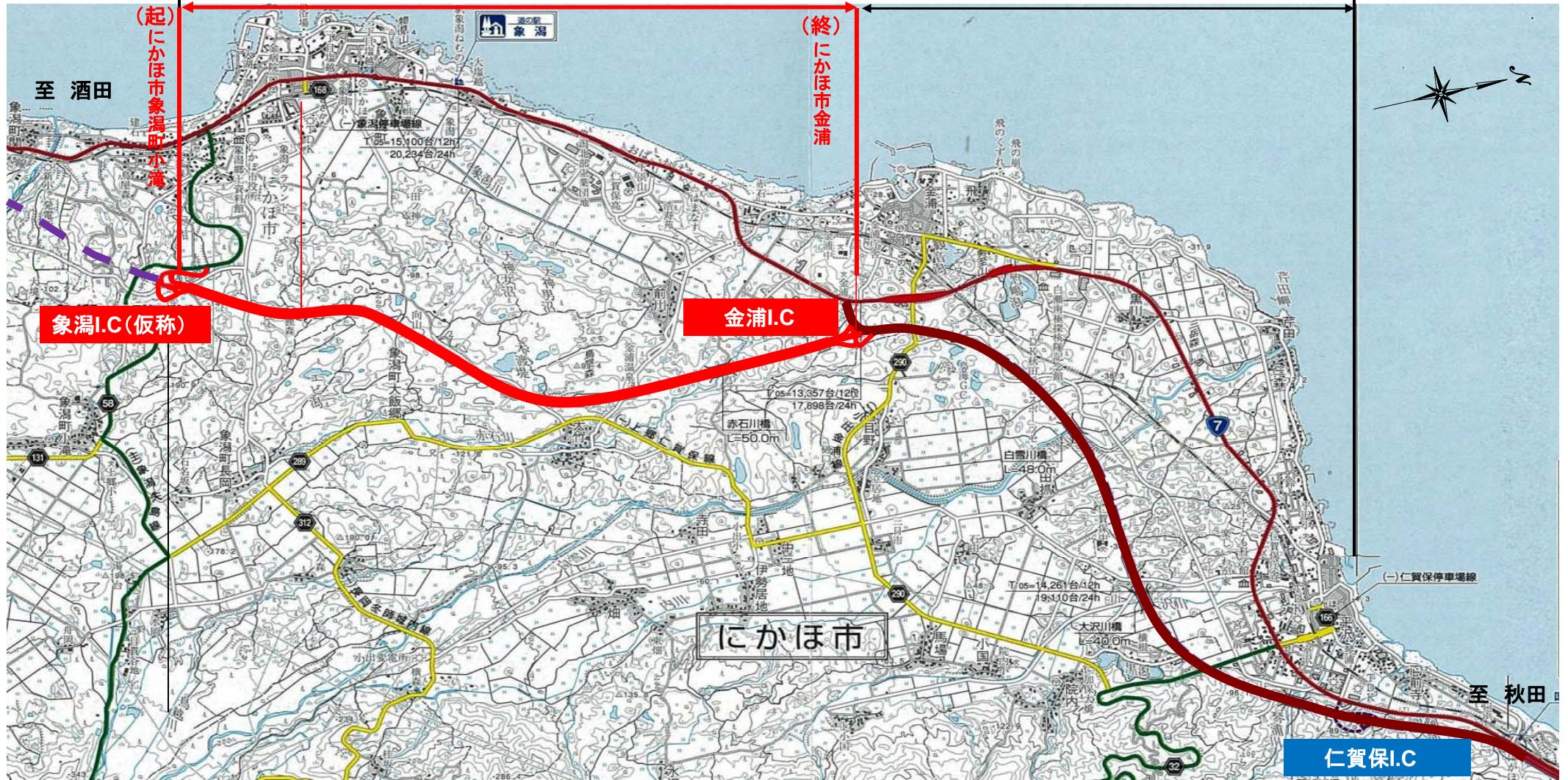
象潟仁賀保道路 L=13.7km

遊佐象潟道路

事業中

H27開通区間 象潟IC(仮称)～金浦IC 約6.8km

開通済 金浦IC～仁賀保IC L=6.9km



(起)にかほ市象潟町小滝

(終)にかほ市金浦

象潟I.C(仮称)

金浦I.C

にかほ市

仁賀保I.C

至 秋田

至 酒田

電子部品の輸送効率化で主要産業の再生と成長を支援

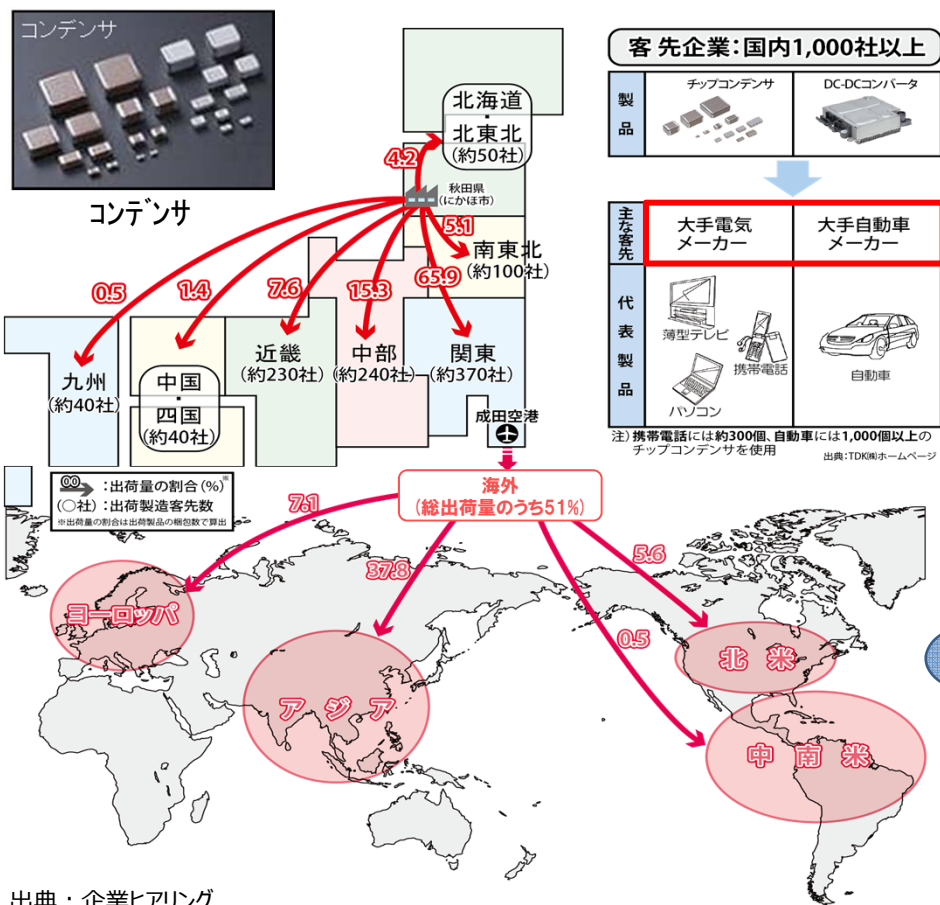
- ◆ 秋田県内の電子部品・デバイス・電子回路産業は、産業分類別製造品出荷額の約1/4を占める主要産業
- ◆ 本荘由利地域に集積しており、秋田県内の製造業を牽引
- ◆ 日沿道の延伸により物流の効率化を図り、主要産業の再生と成長を支援

・秋田県にかほ市で生産される電子部品・デバイス・電子回路の約9割が国道7号、日沿道を利用し全国に配送

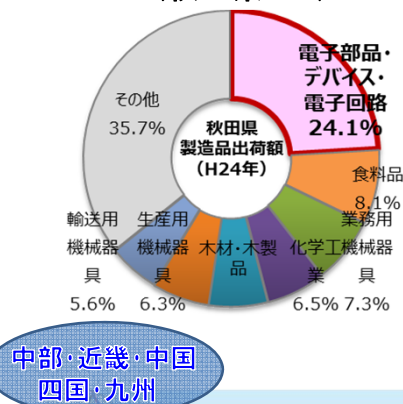
〈今後の展開〉

- ・中部、九州の自動車組み立て工場との取引拡大が期待される
- ・地元運送会社の雇用・収益が拡大
- ・地元企業の雇用・収益が拡大

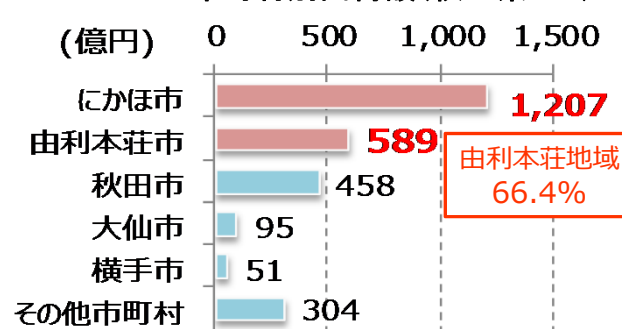
出典：企業ヒアリング



産業分類別製造品出荷額 (秋田県H24)



電子部品・デバイス・電子回路の市町村別出荷額 (秋田県H24)



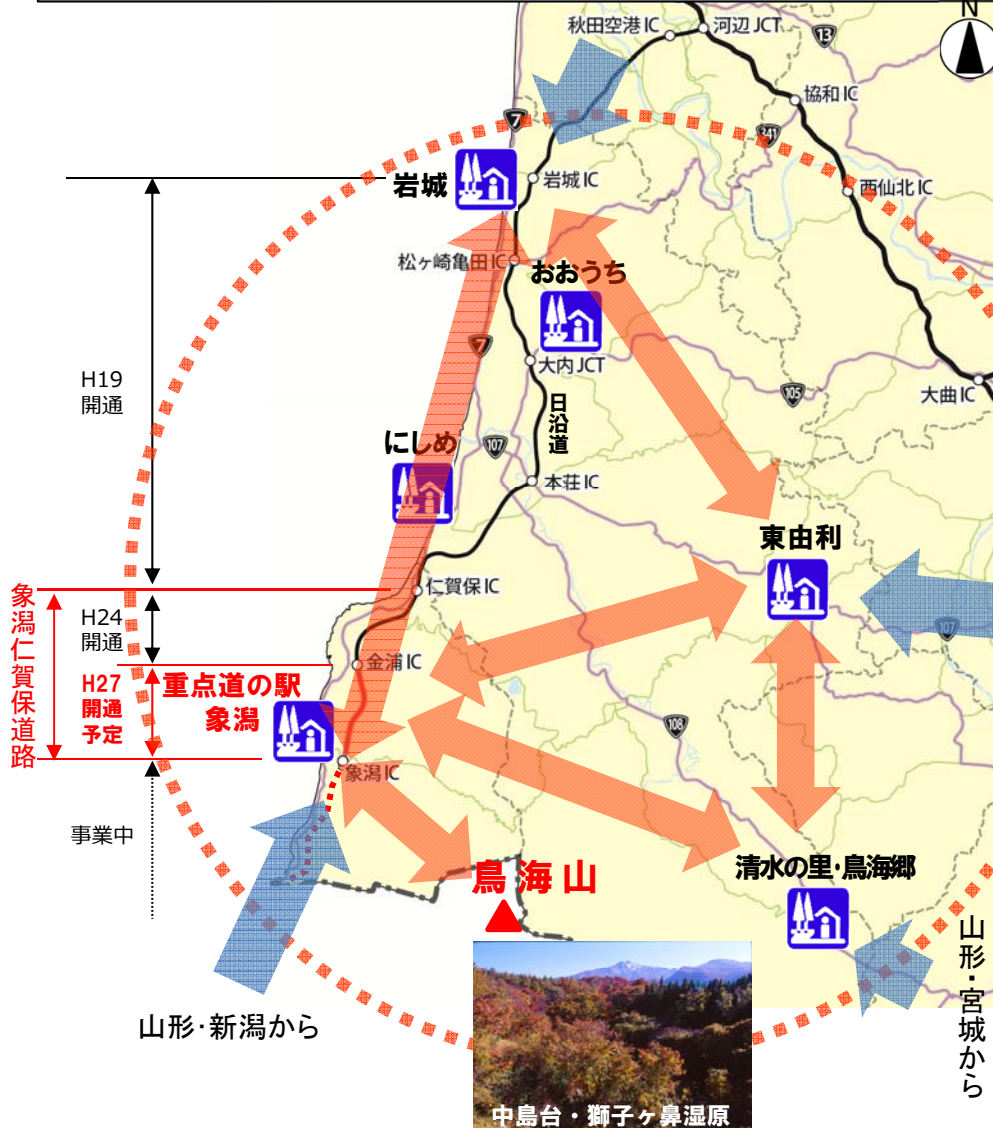
出典：工業統計



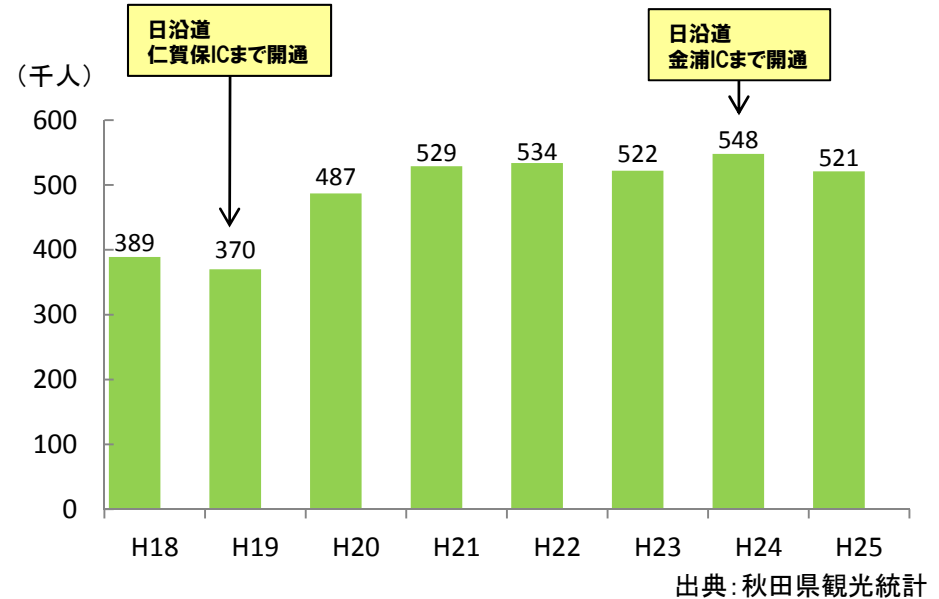
道の駅を拠点とした環鳥海地域の観光の活性化を支援

- ◆ 日沿道の整備推進により、道の駅「象潟」の入込み客数、にかほ市の外国人宿泊客が増加
- ◆ 日沿道の延伸により、環鳥海の道の駅の連携等、地域独自の観光振興戦略を支援

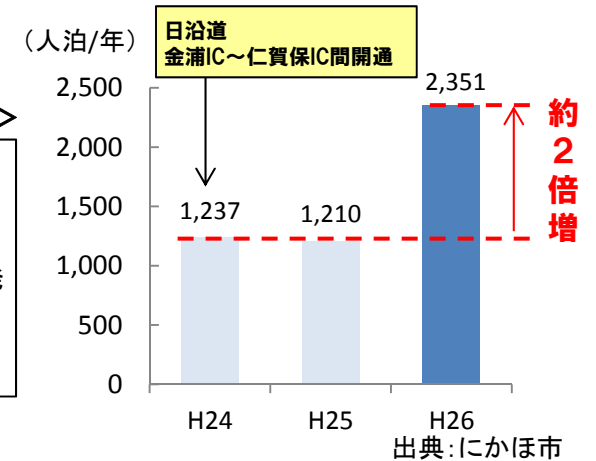
重点「道の駅 象潟」を中心に環鳥海6駅が連携



▼道の駅「象潟」の入込み客数の推移



▼にかほ市の外国人宿泊客の推移

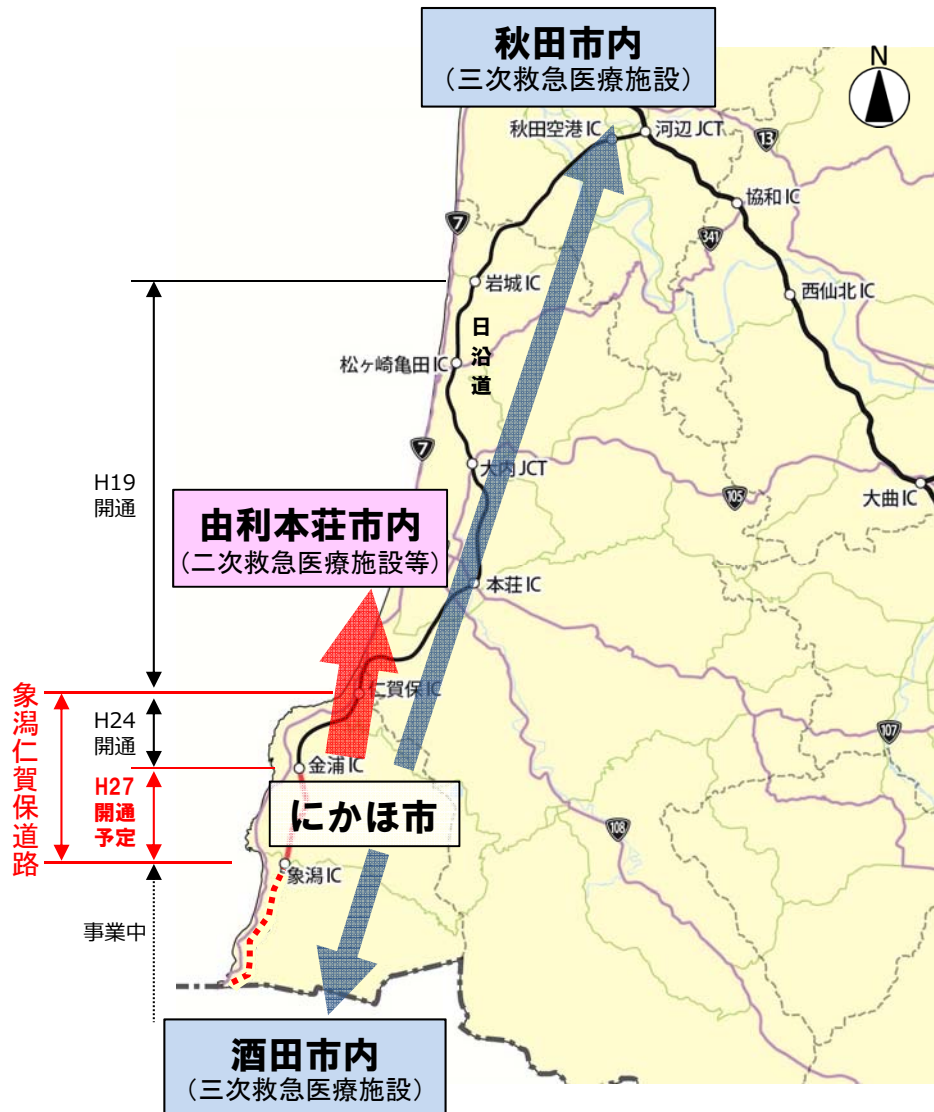


<環鳥海6駅の連携の取り組み>

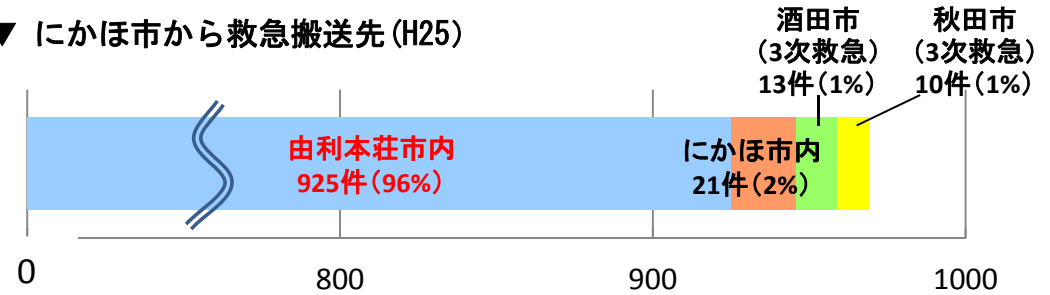
- ・観光総合案内
- ・周遊観光の提供
- ・地場産品による特産品の開発 (6次産業化)
- ・連携イベントの展開

救急搬送の迅速性・安定性を確保

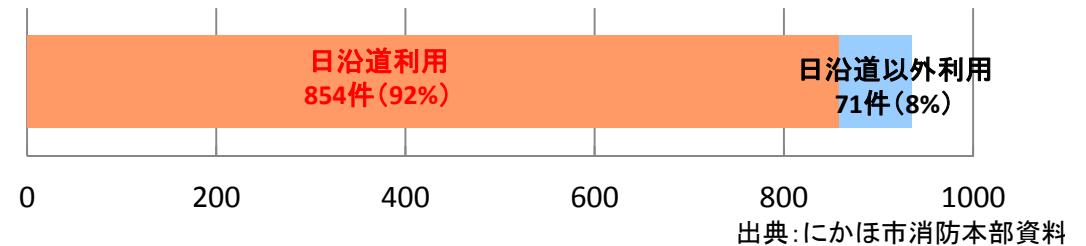
- ◆ にかほ市の救急搬送の96%が由利本荘市の病院に搬送。このうち、92%が日沿道を利用
- ◆ また、重篤患者については、秋田市と酒田市の三次救急医療施設に搬送
- ◆ 日沿道の延伸により、救急搬送の迅速性・安定性を確保



▼ にかほ市から救急搬送先 (H25)



▼ にかほ市 ⇒ 由利本荘市の救急搬送ルート (H25)



▼ にかほ市消防本部の声

- ・ 高速道路は揺れが少なく、ブレーキを踏む必要が無いので、患者への身体的負担を軽減できる。(脳出血患者を搬送している際は、急ブレーキをかけるような特に気を遣う)
- ・ 日沿道の利用により、信号等による加減速の機会が減少、路面の安定性から血圧の変動を最小限に抑えられるとともに、機関員の負担が軽減

▼ 救急搬送ルートの信号交差点数

